

キャリア センターを 利用してみよう

入学してから社会に
出ていくまで親身にサポート

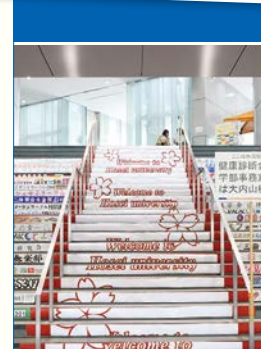
市ケ谷、多摩、小金井のそれぞれのキャンパスにあるキャリアセンターには、
学生のキャリア形成や就職活動をサポートする体制が整っています。
ぜひ、積極的に活用してください。

HOSEI EYE

法政の「いま」をお伝えします。



◀1 式辞を述べる廣瀬克哉総長 ▶2 午前・午後の部とも司会を務めた井上七海さん（文学部3年・右）と泉水悠さん（社会学部3年・左） ▶3 来賓の法政大学後援会会長の友利方彦氏



4月3日（日）、日本武道館（千代田区北の丸公園）で2022年入学式が行われ、午前・午後の部を合わせて約7,000人の新入生が参加しました。
廣瀬克哉総長は式辞で、「コロナを乗り越えた先の大学のあるべき姿を、より良いもの、より魅力的なもの、より実りあるものへと創っていく、その活動の仲間として、皆さんを迎え、これからの法政大学の活動を共に展開していくことを、心から楽しみにしています」と新入生に激励のメッセージを贈りました。
ご来賓には、一般社団法人法政大学校友会会長の佐々木郁夫氏、法政大学後援会会長の友利方彦氏にお越しいただきました。
新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2022年入学式



▲4 午前の部で入学の辞を述べた藤元優衣さん（人間環境学部1年） ▼5 午後の部で入学の辞を述べた山内さくらさん（社会学部1年）



（撮影時のみ一時的にマスクを外しています）

HOSEI 5 Contents

communication magazine 2022

02 HOSEI EYE 2022年入学式

03 キャリアセンターを利用してみよう

08 学生相談室を利用してみよう

11 2022年度新任 学部専任教員一覧

12 卒業生インタビュー

「野菜にもダイバーシティがあっていい
そんな新しい農業スタイルを探究していきたい」
須永農園 代表 須永 真一郎さん

14 ESSAY

「街の遊休資産を活用する」
現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授 水野 雅男

16 HOSEI PHRONESIS

「日常生活の中にAIを取り入れるシステムづくりにまい進」
情報科学部コンピュータ科学科 教授 黄 潤和

18 MY CAMPUS, MY LIFE

GIS（グローバル教養学部）グローバル教養学科
イヨ・シャオ ज्या准教授ゼミ／軟式野球部

20 Message 「小さな頃からの夢であった日本一の経験」
キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科2年 水川 晴奈さん

21 THE SCENE VOL.136 バドミントン部

22 後援会だより「2022年度後援会行事について」
「全国35支部 支部長からのメッセージ 保護者の皆さまへ」 ほか

26 HOSEI ミュージアム VOL.026

「よみがえる宮古島の祭祀〜池間・佐良浜の神願い〜」
法政大学沖縄文化研究所創立50周年記念展示

27 校友会だより

28 HOSEI TOPICS

30 2021年度自由を生き抜く実践知大賞 2

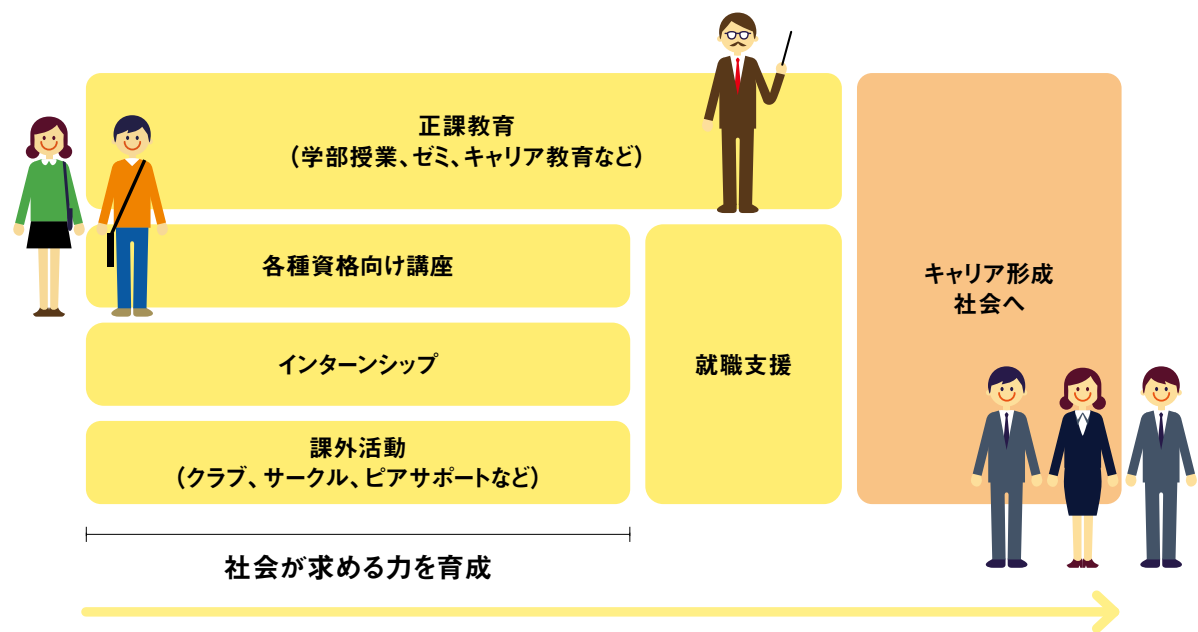
31 BOOKS

COVER 市ケ谷キャンパス 撮影：平野太呂

市ケ谷キャンパスの富士見ゲートは地上6階・地下2階建ての校舎で、カフェテリア「つどひ」や学生ホールなど授業以外でも活用できる施設が充実しています。4・5階の外廊下には、明るいラウンジスペースがあり、楽しそうな学生の姿が見受けられました。

＜法政大学のキャリア支援体系＞

本学のキャリア支援体系は、キャリアセンターによる就職支援だけでなく、日頃の学部での授業やゼミなどの正課教育、クラブやサークルなどの課外活動、専門スキルを養うための各種資格向け講座、インターンシップなど、大学生活での多様な経験を通して、社会が求める力を養っていきます。ぜひ、大学生活ではさまざまなことにチャレンジして、自分の可能性を広げていきましょう。



各種資格向け講座

公務員や法曹（裁判官・検察官・弁護士）、簿記の資格取得や会計専門職（公認会計士など）を目指す学生をバックアップするため、大手専門学校と提携し、試験対策講座を開講しています。

- 公務員講座・法職講座（公務人材育成センター主催）※オンデマンド講座
- 会計専門職講座（高度会計人材育成センター主催）

また、キャリアアップ支援のため、各資格学校で開講している講座（※）を割引価格で受講できるようにしています。

（※）2022年度対象講座
司法書士、行政書士、社会保険労務士、通関士、弁理士、宅地建物取引士、不動産鑑定士、税理士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナー

正課教育

授業やゼミでは、社会で生かせる一般教養を身に付け、「文書作成力」「情報収集・分析・発信力」「状況判断・行動力」を鍛えられます。こうした能力は、どの業界、どの企業においても、職業生活を送る上で必要とされる「就業力」となります。

また、文系全学部と理系の一部の学部を対象に、「キャリアデザイン」の設計や仕事についての理解を深める授業が設けられています。

課外活動

ゼミやクラブ、サークルなど、先輩・後輩、仲間との交流を通して人間性を育める場が豊富なのが本学の特徴です。キャリアセンターでも、就職活動を終えた4年生が、学生サポーターとして自身の就職活動体験を話したり、後輩の就職活動についての質問に答えたりする支援イベントに協力しています。



法政大学のキャリア教育
キャリアセンター長
からのメッセージ

古い価値観から
自由になって

「未来のキャリア」を 探っていこう

キャリアセンター長 長岡 健



キャリアセンター長
長岡 健

経営学部教授。博士（英国ランカスター大学）。研究テーマは「創造的なコラボレーションのデザイン」。著書に『みんなのアンラーニング論 組織に縛られずに働く、生きる、学ぶ』（翔泳社）など。2020年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」。

私たちは激動の時代を生きています。新型コロナウイルス感染症が引き起こしたパンデミックによって、世界中の人々が「予測不可能な時代」のありようを痛感しました。そして、ロシアによるウクライナ侵攻。価値観の違いが生み出す軋轢の凄惨さを痛感すると同時に、他者と共存することの大切さを強く感じています。今、私たちの目の前に広がっているのは、先行きの見えない世界であり、異なる価値観の共存を模索する世界です。

さて、このような話を聞いたとき、みなさんはどんな思いを抱いているでしょうか。あまり明るい話題では

ないので、ちょっと不安になった人もいると思います。でも、今を「明るい未来」に変えていくことはできると、私は考えています。そして、未来へのポジティブな姿勢を表現した言葉を、みなさんは知っているはず。 「自由を生き抜く実践知」という言葉、法政大学憲章です。絶えず変化し、多様な価値観が交錯する時代は、古い慣習や価値観から自由になれる、一人ひとりが自分らしさを発揮できる時代でもあるということです。

では、想定外を生き抜き、葛藤を乗り越え、自分らしいキャリアを実現していくために大切なことは何でしょうか。それは「明るい未来」をしつかりと見据えることだと、私は考えています。みなさんのキャリアは「今」ではなく、「未来」にあります。未来のあなたはどんなワークスタイルで自分らしさを発揮していますか？どんなライフスタイルを楽しんでいますか？今の状況を憂うことなく、目指したい未来像を具体的に探索し、自分らしい「未来の働き方」と「未来のライフスタイル」を構想しながら、さまざまな「学び」にチャレンジする大学時代を体験してください。その先にある

のが、自分らしいキャリアなのです。このように考えてみることで、とても重要なことに気づくはず。それは、「就職活動＋キャリア・デザイン」ということです。大学卒業後どのような職業に就くか、新卒としてどこで働くかが重要であることは言うまでもありません。そのために、希望する職業の選考に備えることも、もちろん必要でしょう。でも同時に、選考は未来に向けてのスタート地点だということを忘れないようにしてください。焦りは禁物です。未来は長く、果てしなく広がっていきます。自分らしいキャリアを自由に生き抜くために、大学が提供する様々な学習機会を活用しながら、「未来に対する知性と感性」を磨いていきましょう。

キャリアセンターは就職支援に加え、キャリア関連科目、インターンシップなどを通じて、働き方やライフスタイルの「未来」が実感できる学習機会を提供しています。専門分野の学習とキャリア関連の学習が「自由を生き抜く実践知」の両輪です。時代に翻弄されることなく、しっかりと「明るい未来」を構想し、自分らしいキャリア実現を目指しましょう。



＜就職活動の8つのプロセス＞

Step 1 自分を知る 自分の強みや理想の働き方など、将来を総合的に考えると、自分の適性や希望する業界・職種が見えてきます。	Step 2 業界を知る 広い視野で情報を収集しましょう。学内で複数開催される「インターンシップ体験会」などにも積極的に参加を。	Step 3 企業を知る 志望する業界がはっきりしてきたら、次は具体的な企業を選択します。学内で開催される「学内企業説明会」で情報収集を。	Step 4 セミナー・説明会に参加 興味ある業界、企業を直接知ることのできる機会です。基本的なマナー、ルールも確認しておきましょう。
Step 5 履歴書・エントリーシート¹ 自分をアピールする重要なツール。書き方は「就職支援講座」や「個別相談」などで身に付けましょう。	Step 6 筆記試験・適性検査²対策 ウェブ試験³対策の「模擬試験」や「試験対策講座」などを活用して、自分の弱点を克服しておきましょう。	Step 7 面接対策 面接は相互理解の場です。自分をアピールし、志望動機などを自分の言葉で伝えられるようにしておきましょう。「個別相談」でも面接練習ができます。	Step 8 内定(内々定) 入社を決めて就職活動を終えるか、他の企業も受けてみるかじっくり考えましょう。就職先の決定報告も忘れずに。

＜キャリアセンターの就職支援＞

卒業生ネットワークを通じた
就職支援

1万7000人分の訪問可能な卒業生データを用意しています。法政企業人コミュニティ（法政BPC：社会の第一線で活躍している約150人が所属）による卒業生との交流会、業界別OB・OG座談会などを例年開催しています。

キャリア支援と就職活動をサポートするための情報共有システム「キャリア就職システム」では、本学の学生のみが閲覧できる貴重な情報を公開しています。

就職支援行事をチェック!

キャリアセンターが開催するイベントを活用し、就職活動を効率的に進めましょう。オンライン開催、LIVE配信、スマートフォンから視聴できるイベントなども行っています。



●キャリアセンターでは皆さんが必要な時期に必要なイベントを提供していますので、ぜひ活用してください。

●時期ごとに特に重点的に対策すべきことや注意点を「就職ガイダンス」で説明しますので必ず参加してください！



2022年3月に卒業した学生の就職活動に関する体験談などについては、広報誌『HOSEI』2021年11・12月号特集「2021年度就職内定者オンライン座談会」を参考にしてみてください。



キャリアセンターのウェブサイトには、
保護者向けの情報やQ&Aも掲載しています。

カウンセラー
からの
メッセージ

あなたらしい学生生活のために —コロナ禍を越えて—

大学生活では、「悩むこと」は心の必修科目と言ってもよいくらい変化・成長に必要です。生活時間を組み立てる体験、勉強のこと、他学生との付き合い、恋愛のこと、就職活動、将来のビジョンなど、どれも自分らしい人生に重要なことです。しかし現在はコロナ禍で、通常あるはずの他者との交流も育むことが難しく、人と話すことで見つけられる悩みごとの答えも埋もれてしまっています。また、日々感染の危険にさらされ、緊張感もありストレスが高い状態です。

学生相談室では、人と人がつながり対話をしていくことで、その人自身に成長と変化が生まれると確信して、コロナ禍でも活動をやることなく開室してきました。いわば赤の他人のカウンセラーだからこそ、言い出しにくいモヤモヤしている事柄を話せることもあります。最初来室する時、勇気を奮っていらっしやることでしょう。しかし、ドアを開けたその時からあなたの変化は始まっています。その第一歩を大切に待ちしています。

(小金井学生相談室 主任心理カウンセラー 野々口知子)

保護者の皆さまへ

10代の終わりから20代にかけての大学時代は、社会に出る一手手前の、さまざまな経験を通じて模索してアイデンティティを確立させる時期です。自分のあり方を思い悩み、いろいろなことを試みては失敗してしまうこともあるでしょう。助けの手を差し伸べようとしても、「手伝いはいらない、放っておいてほしい」と反抗的な態度を取るかもしれません。危なっかしう思えるでしょうが、自立しようともがいている成長の過程では、当たり前行動です。親の助けを必要とするときだけ手を貸せるように、近すぎず遠すぎずのちょうど良い距離感を保ちながら、おおらかに成長を見守っていく——そんな余裕を持った姿勢でお子さんと接してはいかがでしょうか。

それでも親心として心配でならず、気持ちがやきもきしてしまうときには、どうぞ学生相談室をご利用ください。お子さんに関わるさまざまなお気持ちについて、お聞かせ願えればと思います。

学生相談室を利用するには

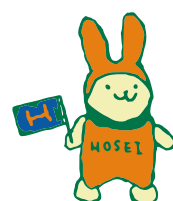
学生相談室は、市ヶ谷、多摩、小金井の3キャンパスそれぞれに設置されていて、常駐している心理カウンセラー（臨床心理士）が相談をお受けします。

1回の相談につき30～50分程度の時間を確保して、丁寧にお話を伺います。

初回の相談にあたっては、予約を取ってください。直接、来室された場合、心理カウンセラーが面接中ですぐにお話を伺えないこともありますので、電話で予約されることをお勧めします。



学生相談室



学生相談室を利用してみよう

学生相談室は、学生の皆さんが大学生活を送る上で困りごとや悩みごとに出合ったとき、より良い解決に向けて一緒に考えていくところです。気になることがあれば、どんな相談も受け付けます。気軽に足を運んでください。

その他の悩み

大学とは直接関係のない悩みで、誰に相談したらいいかわからない

SNSでトラブルに巻き込まれて、どうしたらいいのかわからない

助けてほしいけれど、悩みを誰かに知られるのは恥ずかしい

カウンセラーからのコメント

どこに相談していいかわからないときは、学生相談室が窓口になります。どうしたら解決できるか一緒に考えましょう。もちろん秘密は厳守します。相談内容に応じて、他の部局との連携が必要だと思われる場合は、必ず事前に承諾をとるので安心してお話しください。

子どもに関する悩み（保護者）

子どもが全然話をしてくれない

子どもが泣いたり、不安定で心配

カウンセラーからのコメント

学生に関することであれば、保護者の方からの相談も受け付けます。心配ごとがあれば、気軽に相談室にお問い合わせください。

対人関係の悩み

大学に居場所が見つからない

周りの人と楽しく話したいのに、うまくいかない

コロナ禍でキャンパスに行かない期間があったので、友だちが少ない

心理的な相談

なんだかやる気がでない

自分はダメだと感じて気持ちが落ち込んでしまう

学業・進路についての悩み

就職活動がうまくいかず、行き詰まっている

授業についていけない

課題が多くて大変

カウンセラーからのコメント

まずは、あなたが感じているモヤモヤを話しに来てみませんか。気持ちを吐き出すことで、心の中の重りが、少し軽くなるかもしれませんよ。

弁護士からも無料で法律アドバイスが受けられます

学生を対象に、弁護士が法律相談に応じます。直面しているトラブルに関連する法律上の基礎知識を提供し、問題解決に通じる考え方を助言します。

相談場所：市ヶ谷学生相談室（富士見坂校舎4階）

開催日程などは決まり次第、大学ウェブサイトの学生相談室のページでお知らせいたします。



2022年度新任 学部専任教員一覧

今年度、学部専任教員として新たに着任された先生方をご紹介します。

※2022年4月1日現在

学部	学科	役職	氏名	主な専攻・研究内容
法学部	政治学科	准教授	林 嶺那	行政学
文学部	哲学科	准教授	佐藤 真人	西洋哲学、西洋倫理学、科学哲学、科学史
		専任講師	吉田 敬介	哲学、社会哲学（批判理論）、宗教哲学（キルケゴール思想）
	英文学科	専任講師	近藤 隆子	応用言語学、第二言語習得論
	史学科	准教授	内藤 一成	日本近現代史
	地理学科	准教授	佐々木 達	経済地理学、農業地理学、地域経済論
		助教	宇津川 喬子	自然地理学（地形学）、地質学（堆積学）
	心理学科	専任講師	竹島 康博	知覚心理学、認知心理学
経済学部	経済学科	准教授	伊藤 健彦	社会心理学、第二言語コミュニケーション
		教授	黒田 俊太郎	日本文学
		准教授	Jay Matsuo TANAKA	英語教育学、応用言語学
	現代ビジネス学科	准教授	井上 祐樹	経営学、イノベーションマネジメント
社会学部	社会政策科学科	教授	天本 哲史	行政法
	メディア社会学科	准教授	森 幹彦	知識情報学、教育工学、知的ユーザインタフェース、教育学習支援システム
経営学部	経営学科	任期付教授	鴨志田 晃	経営戦略論、サービスマネジメント、デジタル経営、社会起業論
	経営戦略学科	教授	韓 載香	産業史、マイノリティビジネス、パチンコ、自動車などさまざまな産業の歴史
国際文化学部	国際文化学科	准教授	副島 健作	言語学、日本語教育、現代日本語文法
		専任講師	岩下 弘史	比較文学、日本近代文学、英米思想史
		専任講師	Letizia GUARINI	日本近現代文学、ジェンダー理論、表象文化論
人間環境学部	人間環境学科	任期付講師	伊藤 弘太郎	インド太平洋の国際関係・安全保障論
		教授	金光 秀和	科学技術哲学、科学技術倫理、科学技術社会論
		教授	杉野 誠	環境経済学、都市経済学、応用ミクロ経済学、カーボンプライシングの経済影響、気候変動政策の制度設計、環境問題と貿易
現代福祉学部	臨床心理学科	准教授	小林 由佳	臨床心理学、産業精神保健、リーダーシップ、キャリア心理学
		助教	岩田 千亜紀	社会福祉学
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	准教授	仲田 康一	教育政策、学校経営、学校と地域の連携、子どもの権利をより良く保障する教育改革の模索
GIS（グローバル教養学部）	グローバル教養学科	助教	Youyung HYUN	Big data analytics application、AI and service robots
		助教	平森 大規	計量社会学、クィア・フェミニズム研究、セクシュアリティ・ジェンダー階層論、性的指向・性自認の人口学
情報科学部	デジタルメディア学科	教授	高村 誠之	画像符号化、情報圧縮、データモデリング、高効率映像符号化、映像符号化国際規格技術の符号化最適化、マルチモーダル信号処理
		准教授	佐藤 周平	コンピュータグラフィックス、画像処理、流体シミュレーション、アニメーション、モデリング、レンダリング、画像編集
デザイン工学部	システムデザイン学科	教授	姜 理恵	アントレプレナーシップ、ベンチャー、スタートアップ、起業家・イノベーターの特性解明と起業家教育の実証研究を中心とした、新産業創出マネジメントに資する研究
		准教授	大西 景太	情報デザイン、インフォグラフィックス、モーショングラフィックス、3DCG映像、メディアアート
理工学部	応用情報工学科	専任講師	和佐 州洋	計算機科学、特に離散アルゴリズム
	経営システム工学科	教授	劉 慶豊	経済統計、計量経済学、機械学習
	創生科学科	教授	小宮山 裕	銀河天文学、観測天文学、天文観測装置開発



● 市ヶ谷学生相談室／富士見坂校舎4階

TEL：03-3264-9493

受付時間	月～金 9:00 ～ 17:00
心理カウンセラー相談時間	月～金 9:50 ～ 16:40

（11：30～12：30は昼休み）

※心理テストを希望者を実施しています。



● 多摩学生相談室／総合棟（1号館）2階

TEL：042-783-2158

受付時間	月～金 9:30 ～ 16:30
心理カウンセラー相談時間	月～金 10:20 ～ 16:15

（11：55～12：55は昼休み）

※心理テスト・ストレスチェックを希望者を実施しています。



● 小金井学生相談室／管理棟4階

TEL：042-387-6050

受付時間	月～金 9:30 ～ 16:30
心理カウンセラー相談時間	月～金 10:00 ～ 16:40

（11：30～12：30は昼休み）

※心理テストを希望者を実施しています。
※グループ活動の企画を実施しています。
別途ウェブサイトなどに掲示します。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、対面相談だけでなく電話相談、オンライン相談も行っています。
相談を希望される方は、所属する各キャンパスの学生相談室までご連絡ください。
なお、最新の情報は大学ウェブサイトの学生相談室のページをご覧ください。

URL： <https://www.hosei.ac.jp/gakusei-sodanshitsu/>

障がいのある学生の支援について

本学では「法政大学ダイバーシティ宣言」の通り、多様性を受容して、立場の違う相手の生き方や考え方に耳を傾け、理解を深め合うことを目標として掲げています。この理念に従い、障がいのある学生が、その他の学生と同等に学べる環境の実現を目指して、支援の基本方針を定めています。
修学上の困難が予想される学生に対しては、障がい学生支援コーディネーターが、どのような支援が必要なのか、本人からニーズを聞き取りながら支援プログラムを作成します。また、必要に

応じて学生相談室と連携を取りながら支援に当たります。

障がい学生支援室では、サポートスタッフの確保や育成、各種講座やイベントの開催を通じて、障がい学生支援への理解を促す活動も進めています。

法政大学はダイバーシティ宣言の理念に従い、2018年4月、障がいのある学生を全学的に支援するために「障がいのある学生支援の基本方針」を制定しました。

学生サポートスタッフが活動しています

障がいのある学生をサポートする学生サポートスタッフは、ノートテイクをはじめとした支援活動を行っています。ノートテイクとは、聴覚障がいのある学生の耳になり、講義内容を聞きながら、意味を要約し、文字にして伝える支援です。

「障がいのある学生支援の基本方針」について詳しくはこちらから



障がい学生支援室 問い合わせ先

- 市ヶ谷（外濠校舎1階） TEL：03-3264-6718
- 多摩（総合棟2階） TEL：042-783-4038
- 小金井（管理棟2階） TEL：042-387-4556



HOSEI
Graduate Interview
卒業生
インタビュー

野菜にもダイバーシティがあっていい そんな新しい農業スタイルを探究していきたい

須永農園 代表

須永 真一郎さん

江戸時代から16代続く家業に就農し、10年ほど前からレストランの契約農家として、多種多様な野菜やハーブを栽培している須永真一郎さん。シェフの求める野菜を作るには、育苗で培ったノウハウに加えて、農業以外の分野の知識、そしてそれらを生かせる発想力が重要だと言います。

このページでは、法政大学憲章の「自由を生き抜く実践知」を体现している本学の卒業生を紹介していきます。

個性のある野菜を提供し、
シェフの可能性を広げる

種から育てた野菜や花の苗をホームセンターなどに出荷する育苗農家を継ぎ、10年ほど前からフランス料理店などに向けた野菜栽培も手掛けています。現在契約しているレストランは十数件で、メニュー構成やシェフの好みもさまざまですし、リクエストがあったらすぐ対応できるように野菜やハーブ、エディブルフラワー（食用花）などの種類を増やしていくうちに、300品種ほどになりました。日本でも有数の「超多品目超少量栽培」だと思っています。栽培も手掛けるようになったのは、おいしくない野菜が増えていく状況に疑問を感じたからです。例えばほうれん草は、葉茎がしっかりとっているものが出回っていますが、それは作業性や出荷後の日持ちを優先した品種。私がおいしいと思う品種は、葉が柔らかなため扱いにくく、市場に出回らなくなっていました。



レストラン用野菜の一部。夕方に出荷されたものが、翌日のランチやディナーで提供される

レストラン向けの野菜は、「そのまま食べて甘くておいしい」という野菜のように収穫時が完成ではなく、シェフが手を加えて完成形となります。だから、見た目や味が「規格外」の野菜がシェフの創造力をかき立てる素材になることもあれば、シェフの方からサイズを細かくリクエストしてくることも。あちらが料理のアーティストならこちらは野菜のクリエイターという意識で、通常の農家では対応できないオーダーメイドの野菜作りに取り組んでいます。

**仕事に勉強、資格試験、習い事……
多くをインプットした10〜20代**

高校卒業時には、農業が手伝いから仕事になりつつありました。当時は農業が「3K」などと言われ、引け目を感じる時代で、家業を継ぐにしても、他の仕事に就くにしても多くのことを学んでおきたいと考え、自分で時間を組み立てられる通信教育部で学ぶことにしました。農業は外部とのつながり



300品種の栽培場所と状況は全て須永さんの頭の中。朝から晩まで一日中、見回りと作業が続く

が少ないので、人間関係も築いておきたかったですし、仕事相手と対等に渡り合えるように「大学卒業」という肩書きが欲しいという思いもありました。どの職業にも関係しそうな流通や社会構造、マーケティングの科目を積極的に学び、市ヶ谷キャンパスでのスクーリングでは社会人学生と共にグループワークを経験しました。自分のプラスになりそうなものは何でもやってみようと思い、大学の学費の負担も少なかったのが、学外のビジネスセミナーやワークショップにも積極的に参加し、資格試験にも挑戦してみました。農業に就くことを先生方に相談すると「15年先には良くなるよ」といった肯定的な意見を頂くことも多く、将来への不安が解消されていきました。生き物を相手にする農業は、正解のない仕事。経験も必要ですが、柔軟な発想力やバランス感覚も欠かせません。その意味では、10〜20代のうちにインプットした知識や経験、人脈が今につながっていると感じています。

**新しいことに失敗はつきもの
解決案は失敗や無駄から生まれる**

栽培している野菜の多くは、日本では見慣れない西洋野菜です。以前イタリアの農家も見学しましたが、量産型の栽培と同じやり方はできませんし、

気候も違うので、技術は自分が実験台となって編み出していくしかありません。美容院でシャギーカットの手さばきを目にして、「あの細かい葉っぱを効率良く切るのに使えそう」と試してみたら、うまくいったこともあります。とはいえ、新しいことに失敗はつきもので、私も10個試すうち、9個は失敗です。もちろんビジネスですから、自然災害など不測の事態にも対応するためのリスク管理として、ハウス栽培と露地栽培の二本立てにしていますが、ためらっていたら次のチャンスは1年先になってしまいうので、違うやり方も次々に試していかなければなりません。少し無理をして、やるべきことの余白で遊んだり実験したりしていれば、大半は無駄に終わるけれど、ごくたまに発見があるものです。

**ニッチなスタイルを
新規就農の一つのロールモデルに**

これまでに何人かの若者が、野菜作りや多品種栽培を学びたいとやって来ました。共通しているのは、自分は知識があるから失敗しないと思いつていること。そのため、現場でうまくいかないと感じて、自分には向いていないと決めつけてしまう人もいて、残念だなと思っています。

関心があることは、十分な知識があ

るかどうかに関係なく、ぜひ現場に出て、実際にやってみてください。学生のうちから失敗やミスを経験しておけば、大事なことに着手するときや、責任ある立場となる頃には、十分な回復力や対応力が身に付いているはず。農業は、高齢化や後継者不足、温暖化への対応という問題がある一方で、土地取得や初期投資など新規就農のハードルが高いため、スタイルを多様化させていく必要があります。栽培技術と提携先があれば、狭い土地でも、場合によっては海外でもやっていける。そうした私のニッチなスタイルが一つのロールモデルとなるように、これからも好奇心と向上心を失わず、作る人、食べる人に喜んでもらえる野菜を作り続けていきます。



Sunaga Shinichiro

1974年埼玉県生まれ。通信教育部経済学部商業学科に入学。1996年に卒業後、家業の育苗に携わり、現在はレストラン向けの野菜栽培も手掛ける。2022年5月にキュービー株式会社が開業する「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」では苗を提供する他、アドバイスも行っている。





街の遊休資産を活用する

現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授

水野 雅男

まちづくりは行政任せで良いのか

まちづくりは、行政がやるものと思ひ込んでいる方が多いのではないのでしょうか。私がこれまで取り組んできたのは、行政機関、民間企業の二つのセクターの他に市民活動（市民セクター）がまちづくりにおいて重要な役割を担っていることを、具体的なプロジェクトで示すことです。

本学に着任する前は、石川県でまちづくり分野のコーディネーターとして仕事をする傍ら、市民セクターの立場でまちづくりに携わってきました。住宅街の金澤町家（古民家）の実態を調査し、空き家を活用して若者がシェア居住するドミトリを提供したり、使われなくなっしょうゆ蔵を借用してアーティストのアトリエとしたり、地震で被災損壊した土



地震で被災した土蔵の修復ワークショップ。学生や職人が協働作業を楽しみながら左官技術を伝承

蔵の修復に取り組んだり。いずれも10年近く継続したプロジェクトで、行政機関がそれまで政策として目を向けていなかった（金澤町家）、復興支援補助制度の対象外であった（被災土蔵）、民間企業の収益性の尺度に合わなかった（しょうゆ

蔵）という領域を対象としてきました。どのプロジェクトも、NPO法人（特定非営利活動法人）や一般社団法人などの組織を立ち上げ、運営してきました。当初の使命が達成され、解散した活動組織もありますし、まちづくり活動が新たに継承されている事例もあります。身の丈に合った形で、地域の情勢に対応しながら柔軟に、しかも長期的に取り組めるのが、市民活動の強みです。

行政機関は、道路や橋梁、公園、上下水道、学校、文化施設など、街の基盤（インフラ）を整える役割を担っています。片や民間企業は、再開発ビルやショッピングセンター、マンションなど、営利を目的としてさまざまな開発を手掛けています。私自身は、これまで25年余り携わってきた活動において、世界に誇れる建築技術を継承しながら、遊休資産



大地震が起きたら

わが国は自然災害多発国で、毎年のように地震や台風などによる災害が発生しています。地震で自宅が被災したら、どうしますか？ 行政機関が策定した防災計画には、小中学校などが避難所に指定されていますし、街の中ではその案内表示が至るところで見られます。その計画には、想定される避難住民全てを指定避難所で収容できない、つまり避難民が街の中にあふれてしまうことが明記されています。さらに、近年の感染症まん延により、指定避難所での個々人の間隔を確保するために収容力を従来よりも低く抑える必要があります。

わが国は自然災害多発国で、毎年のように地震や台風などによる災害が発生しています。地震で自宅が被災したら、どうしますか？ 行政機関が策定した防災計画には、小中学校などが避難所に指定されていますし、街の中ではその案内表示が至るところで見られます。その計画には、想定される避難住民全てを指定避難所で収容できない、つまり避難民が街の中にあふれてしまうことが明記されています。さらに、近年の感染症まん延により、指定避難所での個々人の間隔を確保するために収容力を従来よりも低く抑える必要があります。

「我慢を強いる」避難生活
わが国では、毎年のように自然災害が起きているにもかかわらず、体育館のような屋内において集団で雑魚寝するというスタイルが、関東大震災から100年が経とうとしている現在も変わらないと

大学キャンパスを
避難生活拠点として開放する

いうのは、どういうことなのか。避難所ではこれまでもインフルエンザなどの集団感染が発生していますし、車中泊によりエコノミークラス症候群にかかる事例も散見されます。2016年の熊本地震では、地震による直接死の約4倍の方が劣悪な避難所生活などで命を落としています。2019年の台風19号では豪雨と強風に見舞われ、水害の恐れのある地域では避難指示が出され、短い時間ながらも過酷な避難生活を味わった方がいらつしやるでしょう。

学得多摩キャンパスを提供できないかというのが問題提起です。
多摩キャンパスは、テント設営に適した芝生広場やグラウンドなど、広大な敷地を擁しています。また、数カ所のバーベキューサイトと食堂厨房施設、周囲の保全林にはジョギングコース、さらに診療所や図書館などもあり、身体面でも精神面においてもストレスを解消できる避難生活を提供する可能性があります。空間や施設の面だけでなく、長期の休みがある大学キャンパスは、時間的にも遊休資産と捉えることができます。



多摩キャンパスの芝生広場にテントを設営し、学生と地域住民による避難生活拠点の実証実験「CAMP in Campus for well-being」を実施

「大規模自然災害発生時の大学キャンパスでの避難生活のデザインワーク」豊かさや包摂性を追求した避難生活」というテーマで、2019年度から3年連続で集中講義を開講し、学内10学部48人の学生が参加しました。イタリアに倣って、屋外でテント生活を送るために、本

不足する指定避難所を補うだけでなく、避難生活様式の価値基準を転換する役割も果たせるでしょう。既存の行政施策を補完し地域社会に貢献することが、市民セクターの一員としての大学に求められています。その実現化に向けた運営計画などを学生たちと共に検討中です。



Mizuno Masao

1959年生まれ。東京工業大学工学部社会工学科卒業、同大学大学院社会工学専攻修了。地域計画系コンサルタントを経て1993年個人事務所設立。金沢大学地域マネジメントコース教授（2年間）を経て2011年より本学現代福祉学部教授。博士（学術）。石川デザイン賞受賞、地域づくり総務大臣表彰受賞（金沢大野くららアート活動）、第5回ティファニー財団賞伝統文化振興賞受賞（輪島土蔵修復活動）。

日常生活の中にAIを取り入れる システムづくりにまい進

情報科学部に創設時から携わり、人工知能（AI）研究を続けている黄潤和教授。
AIや情報技術の活用を通じて、便利で快適な生活に役立つ仕組みづくりに取り組んでいます。

情報科学部コンピュータ科学科 教授 黄 潤和



専門家の代わりをしてくれる
システムづくり

情報通信や知能情報学などのコンピュータサイエンスを専門に、人工知能（AI）の研究に取り組んでいます。中でも、重点的に手掛けているのは「エキスパートシステム」です。

エキスパートシステムは、特定の分野の専門知識を基に推論を行い、課題解決のためのアドバイスを返してくれるシステムです。言い換えれば、AIを使って専門家（エキスパート）が脳内から答えを導くプロセスを模倣するシステムとなるでしょう。特徴的な構造として、専門的なデータを蓄積した「知識ベース」と、情報を解析して必要な解を取り出すための「推論エンジン」で構成されています。

エキスパートシステムに求められるのは即答力です。解を導くまでに時間がかかり過ぎては、専門家の代わりはできません。膨大なデータの中から、最適な解を効率良く探せるように「推論エンジン」の性能を上げ、データを適切に分類した上で「知識ベース」に蓄積していくことも大切です。

AIの性能を高めるためには、人間の脳の働き、認知機能を理解してコンピュータに投映する必要があります。そのために、認知科学、脳科学、神経

科学、心理学など学際的に探究しています。簡単には進まないことばかりですが、やりがいを感じています。

学部スタートアップに関わり、
教育への熱意が高まる

大学では電子工学を学んでいたのですが、当時はまだ珍しかったコンピュータを扱っているうちに、その将来性に興味を引かれてコンピュータサイエンスを学ぶようになりました。

教育者としての第一歩を踏み出さきっかけになったのは、1993年に新設された会津大学コンピュータ理工学部の開学に携わったことです。

当時は英国で博士号を取得したばかりの駆け出しの研究者でしたが、縁あって会津大学の初代学長を務めた故・國井利泰教授に「日本の大学に来てみないか」と声を掛けられました。日本初のコンピュータ理工学専門大学のスタートアップメンバーの一員として関われることは、とても貴重な経験と良い機会になると思い、来日しました。

さらに、2000年に法政大学が情報科学部を創設した際も、初代学部長を務めた大森健児教授に誘われ、立ち上げから携わるようになりました。新学部で最年少の研究者だったので緊張しましたが、國井教授も一緒だったので、とても心強く感じていました。



1994年南アフリカ共和国のヨハネスブルグを訪れた際は、国際会議の合間に現地の子どもたちと過ごして癒やされたことが良い思い出に



2018年にギリシャで開催されたIEEEの「Cyber Science and Technology」では、国際会議のパネルディスカッションで議長を務めた実績などを評価された



研究室の雰囲気は明るく、コロナ前には親睦を兼ねてスポーツ大会を催したことも。留学生は家族同伴で、一緒に卓球やバドミントンを楽しんだ

新しいことに取り組もうとする人たちは熱意があり、やる気満々です。教育への情熱が高い方々に囲まれたことは大きな刺激になり、教育者として成長させてもらえたと感じています。20年以上も法政に在籍しているので、関係者は自分の家族のような気持ちでいます。学生にも、自由な発想で、のびのびと自分のやりたいテーマに取り組んでほしいと考えています。

社会に貢献できるような
新しいシステムづくりに意欲

近年は、さまざまな分野で、情報通信技術（ICT）を駆使して操作を自動化する「スマート化」が進み、生活を便利にする仕組みが進化しています。AIは、その仕組みづくりに不可欠な要素になるでしょう。

その一端を担うために、学生と共に数年前から手掛けているのは、センサーAIシステムの研究です。

現在はまだ実験段階ですが、モノの動きを感知するセンサーにより日常的にデータを計測しておくことで、そのデータを基に、AIで異常をいち早く予測する仕組みを構築できるのではないかと考えています。

手始めに、浴室での利用を想定した実験を進めています。浴槽内でのヒートショックやシャワー時の転倒など、

浴室では思いがけない事故が起こることがあります。命に関わる危険な事態も考えられるので、異常時は一刻も早く対処しなければいけないでしょう。しかし、プライバシー保護の観点から、浴室ではカメラによるモニタリングはできません。そこで、センサーを使って心拍、呼吸数など体の状態を計測し、異常を感知する仕組みづくりに取り組んでいます。自動的に救急車を呼んだり、家族に連絡をしたりするなどの連動処理も想定しています。

実用化に至れば、高齢者の見守りや介護現場でのヘルスケア分野だけでなく、目が離せない乳幼児の保育、ペットの世話など、多方面での展開が期待できる「実践知」になるでしょう。

誰もが使えるようにするまでには、まだ多くの実験を繰り返す必要があります。蓄積と分析力の精度向上が必要ですが、可能であれば、企業と連携をとるなどしながら研究を深め、実現に向けて邁進したいと考えています。

HUANG Runhe（ファン ルンヘ）

中国・国防科技大学にて電子工学を学び、理学士を取得。国防科技大学で講師を務めた後、英国に留学し、西イングランド大学にてコンピュータ科学および数学を専攻。博士号を取得（コンピュータサイエンス）。帰国後は1993年に開学された会津大学コンピュータ理工学部の立ち上げに関わり、助教授を務める。2000年本学情報科学部の新設とともに、准教授として着任。2003年より教授に就任。現在に至る。Association for Computing Machinery、IEEEに所属。2019年から2020年までIEEE CIS SWTCの委員長を務める。

1962年に創部し、今年で60周年を迎える軟式野球部。学生が主体となって自主的に運営し、指揮官となる監督やコーチも学生が務めています。

東京六大学軟式野球連盟に所属し、2021年度の秋季リーグ戦では無傷の10連勝で完全優勝。次いで23連盟の代表チームが集まった「第43回全日本大学軟式野球選手権大会」でも優勝を果たし、創部以来初の大学軟式野球日本一に輝きました。

「優勝が決まった試合は鮮明に覚えています」と語るのは、4番でキャッチャーという重責を担いながら、歴代最強チームの主将を務めた高井さん。「リーグ戦優勝の時と日本一になった時の2回、監督を胸上げできたことに胸が熱くなりました」と、歓喜の瞬間を振り返ります。

打率・安打・打点の三冠王となり、大会MVP（最優秀選手）に選ばれた飛田さんも「優勝が近づくにつれ、『頑張れ！』と声を掛けてくれる人が増えて、その声が次の試合に挑む力になりました。多くの人に支えられていることを実感しました」と快挙に胸を躍らせます。

軟式野球と硬式野球の最たる違いは、使用する道具の性質です。特に軟らかいゴム製のボールを使用するため、投げ方も打ち方も硬式野球とは

軟式野球部

創部初の 大学日本一を達成！ リーグ戦優勝を目指し、 白球を追いかける

クラブ・サークル

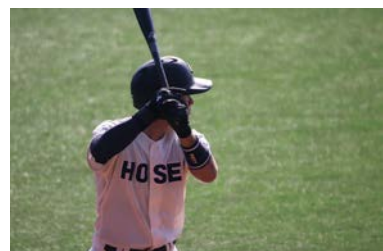
※今回はオンラインで取材しています



上段左から、清滝健介さん（経営学部経営戦略学科3年／代表）、高井秀俊さん（経営学部経営学科4年）、切原侑大さん（経営学部経営戦略学科4年）、下段左から、利涉裕次郎さん（スポーツ健康学部スポーツ健康学科4年）、飛田徹也さん（キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科4年）



2021年度秋季リーグ戦にて。最終戦を戦い終えて優勝が決まった瞬間、仲間に胸上げされた米澤公世監督（2021年度文学部卒）は宙を舞った



僅差で競り合うことが多い軟式野球の試合は、一球ごとに緊張感がみなぎる。部員が着用するユニフォームや帽子は体育会野球部と同じもの



週4回は調布市のグラウンドで練習。仲間同士で切磋琢磨しながら、技術の向上に努めている

感覚が異なります。そのため、硬式野球から転向した選手は、感覚をつかむまで苦労するといえます。「大学から軟式野球に転向したのですが、硬球の感覚で投げていたら、すぐに肩を痛めてしまいました」と苦い経験を語るのは、投手の切原さん。「1年半ほど野球ができず不安でしたが、懸命なりハビリで回復し、優勝に貢献できたことがうれしかったです」と笑顔を見せます。

野球の楽しさを知る仲間として、卒業生とのつながりを深めてきた軟式野球部。毎年開催される『OB総会』を通じて、運営資金や遠征費用にあてる支援金をいただき、部員一同とても感謝しています」と語るのは利涉さん。「恩返しの意味でも、今度は自分たちが後輩たちを支援していく番だと思っています」とサポートの輪を広げます。

「軟式野球部の存在をもっと知ってほしい」という思いから「SNS（交流サイト）を利用して試合結果をこまめに報告するなど、マネジャーと共に、積極的な情報発信に努めています」と語るのは、2022年度から新監督に就任した、代表の清滝さん。「春季リーグ戦優勝」と「秋季リーグ戦連覇」という目標に向けて意欲を燃やすチームを率いながら、広報面でも活動を支えます。

イノベーションとアントレプレナーシップ（起業家精神）をテーマに、企業が実際に行った戦略をケーススタディとして学び、分析する力を育んでいるイヨ准教授ゼミ。

「春学期は主に論文や書籍を通じて基本的な概念や理論を学び、秋学期は自分が興味を持った企業を個々に探究し、分析した成果をプレゼンテーション形式で発表しています」と紹介してくれたのは小堀さん。「研究テーマが幅広いので『イノベーション』と『起業・ベンチャー』というカテゴリテーマを設けて、一年ごとに交互に学んでいます」と語ります。

2021年度のテーマは「イノベーション」。ゲストスピーカーとしてAmazon Japanの方を招き、臨場感のあるイノベーション戦略を聞く時間も設けられました。

ビジネス変革の例を調べる個人研究で「電気自動車」に着目したのは田中さん。「1800年代には既に開発されていたと知って驚きました。維持費用が安価なガソリン車に一度は市場を奪われましたが、排出ガスの削減を目指すために価値が見直され、復活したのです」と歴史から得た学びを自分の糧にしています。

M&A（合併買収）の事例研究として「ピクサー（現ピクサー・アニメーション・スタジオ）が、ウォルト・

GIS(グローバル教養学部)グローバル教養学科 イヨ・シャオジャ准教授ゼミ

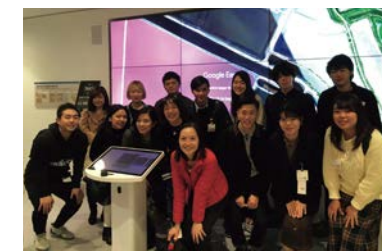


イノベーションと 起業家精神をテーマに ビジネスの分析力を磨く

ゼミナール・研究室

上段左からイヨ・シャオジャ准教授、小堀琉生さん、若松辺梨さん
下段左から田中聖音さん、北館遥さん ※全員グローバル教養学部グローバル教養学科4年生

※今回はオンラインで取材しています



コロナ前には、課外授業として実際の企業を訪れて話を伺う「企業訪問」も実施。2018年には六本木ヒルズにあるGoogle Japanの本社を訪問



2020年1月には、ANA（全日空）を訪れ、飛行機の格納庫も見学した



2022年度の最初の対面授業では、久しぶりにゼミ生が集まった ※撮影時のみマスクを外しています

ディズニー・カンパニーの傘下に入った結果、ビジネス的にとどのような影響が出たのかをまとめました」と語るのは若松さん。「背景を調べてみると、初めて知ることも多く、ビジネス分析の面白さに気がきました」と学びの奥深さを語ります。

「ケーススタディを通じて学生の問題を発見し解決する能力、応用力を高めた」と語るイヨ准教授。授業では、活発な議論が繰り広げられることも多く、先生との距離が近いことで、相談もしやすいといえます。

4年次の最後にはゼミでの学びの集大成として、卒業論文や、特定の企業を対象とした分析レポートを書きます。多くの学生は、卒業後に自分が勤務する予定の企業を対象に、業界分析や経営戦略、財務などに関するレポートをまとめています。

ゼミ生たちは自らのキャリア形成に意欲的で、起業や大学院進学などの将来を見据えています。大学院進学を視野に入れて「より深くビジネスを学びたい」と語るのは北館さん。「社会に出るときには、まず自分が興味のある企業に就職して、グローバルな営業力やマーケティングスキルを身に付けたいです。十分なキャリアを積んだらからはMBA（経営学修士）の取得も考えています」と未来を前向きに語ります。

THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介します。



バドミントン部

撮影場所：多摩キャンパス総合体育館
撮 影：田中伸弥

バドミントン部は1948年に創部し、今年で74年となります。男子部、女子部ともに関東大学バドミントンリーグ1部に所属し、男子部のリーグ優勝回数は通算で26回。全日本学生バドミントン選手権大会（インカレ）では、通算11回の優勝を果たしており、これまで日本トップクラスの選手を多く輩出してきました。男子部の練習は多摩キャンパスにて週6回、1年生から4年生まで計26人の選手が主体となり、「インカレ優勝」という目標に向かって、チーム一丸となり取り組んでいます。2022年度から新たな総監督、コーチを迎え、指導の充実も図っています。今後のバドミントン部の飛躍に、ぜひ期待してください。

Message

「自由を生き抜く実践知」を
体現している
学生の声をお届けします。

小さな頃からの夢であった 日本一の経験

キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科2年

Mizukawa Haruna

水川 晴奈さん

私は幼稚園に通っていた頃、父と兄の影響で剣道を始めました。昔から剣道が大好きで、習い始めて最初に立てた目標が「日本一になること」でした。

日本一を目指して練習に励んでいた高校1年の夏、西日本豪雨（平成30年7月豪雨）の発生により家が被災しました。思うように練習に参加できない期間がありましたが、非日常の避難生活を送る中で多くの方のサポートを受け、剣道を続けることができました。その時、剣道を続けさせてくれた両親やサポートをしてくださった方に対して、「日本一という結果を出すことで恩返しをしたい」と感じ、小さな頃からの目標への思いがさらに強くなりました。

高校3年の時には新型コロナウイルス感染症の影響により、地元である岡山県での開催で気合を入れていた「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」が中止となりました。非常に悔しい思い出となったので、大学でこそ結果を残すのだと強く心に決めました。

大学を探す中で、法政大学剣道部は自主性を持って技術を高め合い、個性を伸ばすことのできる環境が整っていることを知りました。私のスタイル

に合っていると感じ、ここでなら日本一という目標を実現させることができるとではないかと思い、入学を決めました。

入学してほどなく大会の出場選手に選ばれ、昨年11月に行われた「第40回全日本女子学生剣道優勝大会」団体戦では準優勝、そして12月の「第55回全日本女子学生剣道選手権大会」個人戦で優勝し、ついに日本一になることができました。思いがけない結果でしたが、多くの方が祝福してくださったことで、徐々に実感が湧いてきました。特に地元の方から祝福していただけたことが非常にうれしく、被災した時にもくじけず、前に進ん

で良かったと思いました。

現在もコロナ禍の影響で、万全な形での練習はできていませんが、その中でもできることを最大限行うためには、今何をすべきか、自分自身で考え、行動していかなければなりません。このような危機的状況の中でも剣道ができていること、多くの方に支えていただいているからこそ、こうして大学生生活を送ることができているのだと感謝の気持ちを常に持ち続けたいと思っています。

この結果に満足することなく、さらに上を目指し、心身ともに精進していくために、いろいろなことに挑戦していきたいです。



茨城県支部
平野 千加



新入生父母の皆さま、ご子息、ご息女のご入学おめでとうございます。茨城県支部の会員数は約600人で、単独の県支部としては最大級となっております。県内からの通学や、親元を離れての1人暮らしなど、さまざまな環境での生活が始まりますが、保護者の皆さまには情報交換の場として、ぜひ後援会をご活用いただければ幸いです。

宮城県支部
谷口 伸一



新入生の父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。コロナ禍において何気ない日常生活も一変し、新たな生活様式が生まれようとしております。このような状況下で、宮城県支部は創立31年目を迎えました。これからも大学と学生に寄り添ってまいりますので、会員の皆さま、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

全国35支部
支部長からの
メッセージ



保護者の
皆さまへ

栃木県支部
岩淵 出



栃木県支部は1976年に設立され、会員数は約350人です。今年度は2022年6月11日(土)に「新入生父母の集い」、8月27日(土)に「支部総会・父母懇談会」を開催予定です。学生生活や就職活動の情報交換ができる場を提供し、子どもたちの充実した大学生活への一助となれどと考えております。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

秋田県支部
佐藤 浩幸



秋田県支部は1998年設立で、会員数は現在58人です。積極的に展開している支部活動も、この2年間はコロナ禍の影響で十分に行えておりません。いまだ収束には至りませんが、今年度は大学の状況を会員の皆さまにご理解いただくことに重点を置き、従来の活動も行っております。どうかご協力のほどよろしくお願いいたします。

北海道支部
塩ノ入 靖浩



新入生の父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。北海道支部は1982年の創立で、今年40周年を迎えます。例年は、父母懇談会や役員会、よさこいの応援を企画し、保護者同士の交流を深め、学生生活や就職活動などの情報交換を行っています。コロナ禍で活動の制限は続いておりますが、皆さまのご参加をお待ちしております。

群馬県支部
坂本 武志



群馬県支部は「子どもの母校は我が母校」をモットーに積極的に活動していますが、コロナ禍により自粛せざるを得ない状況にあります。お子さまの学生生活に不安も多いと思いますが、このような状況だからこそデジタルツールを用いた情報交換の機会を多くつくりたいと思います。今後も、群馬県支部として学生を全面的に支援していきます。

山形県支部
佐藤 啓



山形県支部では独自の活動として、秋の山形の風物詩である芋煮会を河原で開催し、友好を深めています。コロナ禍の影響により活動を自粛してきましたが、今年度から活動を再開できるように検討しております。今後も「子どもの学びを止めない」を合言葉に、大学と協力して支援を行ってまいります。

青森県支部
金田 正美



青森県支部は、昨年度はオンラインの支部総会・父母懇談会および役員会で、就職活動や授業、アルバイトなど、学生生活について父母の皆さまと情報共有を図ってまいりました。後援会活動を通して、コロナ禍で不安を抱えている子どもたちを支援してまいりますので、皆さまもご参加のほどよろしくお願いいたします。

新潟県支部
鈴木 浩人



新入生父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。コロナ禍の収束が見えない中、お子さまを東京へ送り出すのに不安をお持ちのことと存じます。新潟県支部では、感染防止に配慮しながら支部総会や懇談会、さまざまな情報交換の機会を持ち、親同士の親睦を深めています。子どものサポートが第一ですが、楽しい会運営を目指しております。

福島県支部
岩崎 宏光



福島県支部は、2021年度に旧福島支部と旧郡山支部を統合し、福島県全体の組織として発足しました。県内保護者間の交流をより一層深めていきたいと思っております。ここ2年ほどはコロナ禍で活動を制限することもありましたが、今後はより活発に活動してまいります。ぜひ、新入生保護者の皆さまもご参加のほどよろしくお願いいたします。

岩手県支部
金野 廣宣



岩手県支部は、現存する後援会で最も歴史ある支部であります。地方から子どもを送り出す親の不安や悩みは、昔も今も変わりありません。そんな親の思いに寄り添いながら、それを乗り越えてきた先輩会員や、大学関係者との交流の場を設け、子どもを支えていくことを支部の伝統としています。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2022年度 後援会 行事について

学修に関わる 個別相談のご案内

会員(保証人)向けに、大学職員による個別相談をオンライン(Zoom)と電話で実施します。対象は全学年・全会員で、事前申込・定員制です。今回は学修に関わる相談で、個々の科目の成績評価に関するご質問などにお答えするものではない点をご承ください。

【昨年度の質問例】

- ・進級や卒業に向けて、今年度中に取得しなければならない単位数を教えてください
- ・現在の単位修得状況は順調であるか、また今後の学修で注意すべきことを教えてください

【申し込み】

下記アドレスより「2022年度学修に関わる個別相談事前申込フォーム」へアクセスしてください。



<https://forms.gle/sLcbmKRUKaJuWsMA9>

【相談日と申込受付締切日】 ※締切日厳守をお願いいたします

キャンパス	学部	相談日	申込受付 締切日
市ヶ谷	法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン・GIS・デザイン工	7月30日(土)・8月6日(土)9:00~12:00	7月3日(日)
小金井	情報科・理工・生命科	8月6日(土)9:00~12:00	7月3日(日)
多摩	経済・社会・現代福祉	10月1日(土)9:00~12:00	9月4日(日)
	スポーツ健康	7月30日(土)9:00~12:00	7月3日(日)

- 「キャリア形成(就活)に関する個別相談」は2022年秋に実施予定
※詳細は本誌2022年8・9月号の「後援会だより」に掲載いたします。

後援会総会と 表決のご案内

(本誌2022年4月号に既掲載の情報です)

【議案の閲覧・表決方法】

下記アドレスより「2022年度後援会総会表決」へアクセスし、議案を確認の上、表決フォームへお進みください。



<https://www.hosei-koenkai.org/branch/shutoken/-2022.html>

【表決期間】

5月21日(土)~5月30日(月)
※決議結果につきましては、後日、後援会ウェブサイトにてご報告いたします。

法政大学後援会事務局

〒102-0073
東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学九段校舎 4F
TEL: 03-3264-9350
FAX: 03-3264-9367
E-mail: koenkai@hosei.ac.jp



後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>

大分県支部
市原 隆生

大分県は、法政大学の前身・東京法学社を設立した金丸鉄、伊藤修岡先生の出身地で、杵築城の城山公園には「法政大学創立者顕彰碑」が建てられています。このため大分県支部の活動は大変活気があります。現在はコロナ禍で活動が制限されていますが、コロナの終息を願い、再び活気あふれる大分県支部となるよう力を合わせていきたいと思っています。

宮崎県支部
大原 正幸

新入生保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。お子さまを東京へ送り出す不安、コロナ禍での健康の不安もあると思いますが、「子どもの母校は我が母校」を合言葉に保護者同士の情報交換、交流を通して子どもたちをサポートしていきたいと思っています。皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

鹿児島県支部
栞 哲也

鹿児島県支部の会員は約50人、今年度で34年目を迎えます。遠い関東の地で学ぶわが子のために、また不安を抱く保護者同士の情報交換の場となるよう、支部活動を少しでも盛り上げたいと思います。6月の新入生父母の集い、8月の支部総会・父母懇談会を通して会員相互の交流を図りましょう。皆さまのご参加をお待ちしております。

沖縄県支部
當間 栄作

沖縄県支部は、遠く離れて暮らす子どもたちの生活環境、大学生活、就職活動に関する情報収集や、保護者同士の交流の場となっております。アットホームな雰囲気の後援会活動を心掛けています。「子どもの母校は我が母校」です。法政大学を盛り上げましょう! お気軽にご参加ください。

高知県支部
松村 邦弘

新入生父母の皆さま、ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中、保護者さまの不安は尽きないことと存じます。高知県支部は、会員数は少ないですが、敷居を低くし、会員全員が気軽に支部活動に参加できる運営を目指しております。新入生父母の集い、支部総会・父母懇談会などの行事に参加して情報を共有し、その不安を解消しましょう!

福岡県支部
吉元 真由美

福岡県支部の後援会活動は、この2年で大きく様変わりしました。遠く離れて暮らす子と思う会員の皆さまとの親睦や情報交換、悩み相談や不安解消の場を、今後どのような形で提供していくかを模索中です。「無理なく楽しくできる範囲」で協力し、和気あいあいと活動していきたいと思っています。どうぞお気軽にご参加ください。

佐賀・長崎県支部
松永 ひろみ

佐賀・長崎県支部は、珍しい2県構成の支部です。一昨年度、昨年度とコロナ禍で思うような活動ができなかったですが、今年度はオンラインを取り入れながら、遠く離れて暮らす子どもたちの学生生活や就職活動などの情報を共有し、皆さまの不安や心配の解消につなげられればと思っています。ぜひお気軽にご参加ください。

熊本県支部
堀川 順司

熊本県支部は92人の支部です。「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、遠く離れた子どもたちが素晴らしい学生生活を送れるよう、会員の情報交換・交流を通じて和気あいあいと活動しております。今年度は6月18日(土)に「新入生父母の集い」、8月に「支部総会・父母懇談会」などを開催いたします。ぜひ、お気軽にご参加ください。

山口県支部
岡村 幹夫

山口県支部は61人の支部です。コロナ禍の中、face to faceとオンラインでのコミュニケーションを駆使し、一致団結して活動しています。子どもたちの生活状況を共有し、親同士での意見交換を軸に、「子どもたちの大学生活が一生の財産となるように」をスローガンに活動しています。ぜひ、扉を開けて一緒に活動してみませんか?

徳島県支部
出島 美紀

新入生ご父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。徳島県支部は、昨年度はオンラインで保護者同士の交流や大学との情報交換を行いました。コロナ禍での大学生活に不安は尽きませんが、新入生父母の集いや父母懇談会などを通してコミュニケーションを図っていききたいと思いますので、ぜひお気軽にご参加ください。

香川県支部
大池 真実

新入生父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。香川県支部では「子どもの母校は我が母校」を合言葉に、遠く離れた子どもが充実した大学生活を送れるようサポートしています。コロナ禍で思うように活動できない状況ですが、従来どおりに行えるようになるのを心より願っております。子どもたちのためによりしくお願いします。

愛媛県支部
村上 由希子

愛媛県支部では、支部役員会議や父母懇談会などを通じて交流を深めておりますが、コロナ禍という事情もあり、従来の親交の場を持ってない状況が続いています。本来あるべき愛媛の団結力の強さを、早く取り戻したいと思っています。皆さま、これからもご協力よろしくお願いいたします。

関西支部
南出 太

新入生父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。関西支部では、2府4県の会員450人で活動しております。子どもの成長を共に喜び、親と一緒に成長できる有益な会です。コロナ禍など環境の変化に伴い、行事の変更もごさいますが、ぜひとも後援会に入会された意義を感じていただき、一緒に盛り上がりましょう! 頼んまっせ!

鳥取・島根県支部
勝部 武史

鳥取・島根県支部は、全国で一番会員数の少ないアットホームな雰囲気の支部です。今年度は「新入生父母の集い」を3年ぶりに開催し、会員の交流再開に努めます。10月の「出雲駅伝」に法政大学が出場する時には、校友会島根県支部と連携して後援会の横断幕やのぼりを立て、山陰から子どもたちへの思いも込めて応援したいと思います。

岡山県支部
大城 憲一郎

新入生父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。2020年度と2021年度はコロナ禍において後援会活動の自粛を余儀なくされましたが、今年度は後援会活動を通して、皆さまと情報交換、親睦が図れたと思います。「子どもの母校は我が母校」、皆さまのご参加をお待ちしております。

広島県支部
藤井 克彦

広島県支部では、新入生父母の集い、父母懇談会、キャンパス見学会・六大学野球応援、出雲駅伝応援ツアーなど、大学関係者との情報交換、保護者同士の交流を図っています。コロナ禍で、ここ2年は主な行事が中止となりましたが、今年度はイベントを実施できればと願っています。皆さまの後援会活動へのご参加をお待ちしております。

長野県支部
宮寄 元義

長野県支部の会員は355人です。コロナ禍においては、さまざまな活動が思うようにできず、中止が続いております。今年度は、6月4日(土)に新入生父母の集い、7月24日(日)に支部総会・父母懇談会を開催予定です。大学関係者の方の講演会をはじめ、会員にとって有意義な情報を提供したいと考えておりますので、ぜひご参加ください。

静岡支部
杉本 圭

静岡支部では、6月12日(日)に「新入生父母の集い」を開催予定です。こうした定例行事以外にも、会員同士が気軽に話し合い、交流を図れる場を提供していきたいと思っています。みんなで楽しく活動してまいりましょう。ぜひお気軽に支部活動へご参加ください。

浜松支部
伊藤 裕樹

浜松支部では、昨年度も引き続き活動自粛の我慢の年となりました。交流や情報交換も十分に行えず、本来の後援会の機能を果たすのが難しい状況です。こうした状況がまだ続きそうですが、今できること、やるべきことをしっかりと行っていききたいと思います。皆さまのご縁を大切に活動をしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

東海支部
福澤 真理

東海支部は愛知・岐阜・三重の728人の会員が所属する支部です。大学や学生の成果を喜び、課題を共に考えたい。そんな情報交換の場を提供すべく各種行事を企画しています。昨年度はコロナ禍に負けず、「父母の集い」のリモート開催に挑戦しました。他にも多くの行事を精力的に開催しています。ぜひ、後援会ウェブサイトの笑顔一杯の東海支部ページをお訪ねください。

富山県支部
寺井 洋一

富山県支部では、「新入生父母の集い」「支部総会・父母懇談会」「キャンパス見学会・六大学野球応援」などを実施し、会員交流を通じて学生後援の活動を行っております。学生・保護者共に大変な状況とと思われますが、支部活動が情報共有、不安解消の一助になれば幸いです。どうぞお気軽にご参加ください。

石川県支部
谷本 真人

新入生の父母の皆さま、お子さまのご入学おめでとうございます。石川県支部では父母の集まりにより、離れて暮らすお子さまの活動支援を行っています。日々変わる生活環境、就職活動、離れて暮らす不安を、父母同士が情報を共有することで解消し、お子さまを支援できればと思います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

福井県支部
川口 孝誠

福井県支部は比較的人数の支部ということもあり、大学やお子さんの近況についてLINEで情報を共有するなど、和気あいあいとした雰囲気運営しております。近年はコロナ禍の影響もあって、対面形式での活動はできていませんが、学生への支援と保護者の交流の場として、会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

山梨県支部
三浦 顕承

山梨県支部は設立23年目を迎えます。近年はコロナ禍の影響で支部行事の多くが中止となりました。社会情勢の変化が感じられる中、学生生活や就職活動への不安はますます高まっています。「新入生父母の集い」「支部総会・父母懇談会」などを通じて情報を交換し、子どもたちを強力にサポートしましょう。皆さまのご参加をお待ちしております。



校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化を目的に、校友会憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。



奈月 れい さん

元三井住友銀行行員。歌手、シンガーソングライター、ラジオパーソナリティーとして活躍する他、一般社団法人みんなの大学校の客員教授なども務める。

奈月さん「狭き門に挑戦する皆さまのお手伝いをしたいと思って、始めた企画です。自己分析、インプットやアウトプットができていないかの確認、今後の採用試験に向けた練習の場にして下さい。これも何かのご縁、一緒に頑張っていきたいです！」



出演した磯田梨奈さん(法学部3年)「人生初の出演経験に胸が高鳴りました。リアルタイムでコメントが届くので、非常に実践的な学びの場となりました。私にとっては大きな挑戦でしたが、チャレンジしたからこそ学べた点、経験できたことがたくさんあります」

2021年度同期会の代表議員が決定

2014年3月以降の卒業生は、卒業と同時に校友会の終身会員となり、卒業後5年間は卒業年度ごとの組織である「年度同期会」に所属します。校友会では、校友会活動の運営にご協力いただく「代表議員」を、大学から推薦いただき、学位授与式の場で卒業生より承認をいただいています。

2022年3月に卒業した「2021年度同期会」の中から、次の3人が代表議員に決定しました。

齊藤 光平さん(法学部)
高井 真理さん(文学部)
松田 彩さん (キャリアデザイン学部)



左から松田彩さん、高井真理さん、齊藤光平さん

在学生へのキャリアサポート事業「マスコミ体験学習の場を提供

法政大学校友会は、キャリアセンターとの共同事業で「模擬役員面接会」を実施するなど、在学生へのキャリアサポート事業を推進しています。今年3月には、校友会会員のご協力により、マスコミ業界を目指す学生に向けた新たな企画がスタートしました。

レインポータータウンFMの音楽番組「イレブンミュージック」でパーソナリティを務める奈月れいさん(法学部法律学科卒)が、「頑張れ！挑戦する若者たち」奈月塾」というコーナーを設け、マスコミ業界を志望する学生が交代で出演できる体験学習の場を提供しています。

公開生放送と同時にYouTubeでも配信されるこの番組には、リアルタイムでリスナーから質問や感想が寄せられます。アドリブ力を鍛えられるこの貴重な機会が、マスコミ試験で必須とされる自己PR動画の作成や、倍率数百倍といわれるアナウンサー試験の本番に役立っています。法政関係者の皆さまも、ぜひ番組を聴いて、感想をお寄せください。



HOSEI ミュージアム HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

よみがえる宮古島の祭祀 池間・佐良浜の神願い

法政大学沖縄文化研究所創立50周年記念展示

沖縄県は、東西約1000キロ、南北約400キロの広大な海域に、沖縄諸島、先島諸島(宮古・八重山)、大東諸島に分かれて約160の島が点在しています。このうち約40の有人島では、それぞれの自然環境と歴史によって、特徴ある文化が育まれてきました。

法政大学沖縄文化研究所では、1972年の創立以来、沖縄の離島研究に取り組んできました。代表的な研究プロジェクトに、久米島、久高島、渡名喜島などに関する言語・文化・社会の総合的研究があります。調査の際に撮影された島の景観、建物などの写真は、当時の島々の様子を今に伝える貴重な記録となっています。

このほか同研究所では、国内研究員の加藤久子氏が民俗学調査の際に撮影した写真をデジタル化し、保存しています。加藤氏の調査・研究の中心は沖縄の漁村で、代表的な著作『海の狩人 沖縄漁民―糸満ウミンチュの歴史と生活誌』は沖縄タイムス出版文化賞を受賞しています。また、沖縄本島を代表する「ウミンチュ(海人)」である糸満漁民と対比する形で、宮古・池間島や伊良部島佐良浜の調査にも取り組んできました。

池間島では、かつて年間50近くの祭祀が行われ、人々の生活と深く結び付いていました。それらの祭祀を担っていたのが、「ツカサンマ(司母)」という女性の神役たちです。ツカサンマは、聖なる存在として権威を与えられる一方で、個人の生活が大幅に制限されることとなり、近年は辞退者が多く不在となっていました。池間では今年6年ぶりに誕生し、祭祀継承の模索が始まっています。

伊良部島の佐良浜地区は、18世紀に池間からの移住者により村建てされました。そのため、多くの祭祀が池間の影響を受けていますが、異なるやり方で行われるものもあり、二つの地域がたどってきた歴史の影響が見られます。残念ながら現在は神役が選出されておらず、ツカサンマによる祭祀は行われていません。

沖縄文化研究所創立50周年記念展示では、80〜90年代に加藤氏が撮影した池間・佐良浜の祭祀の写真が展示されます。池間の「ユークイ(豊穣祈願)」や、佐良浜の「ムズビユイ(収穫祈願)」「カーニガイ(井戸願い)」など、長らく途絶えてしまっていた「神願い」の姿を今によみがえらせます。

*4月号にも記念展示の記事を掲載



- 1 渡名喜島の伝統的民家。しっくいで固められた赤瓦の屋根。家の正面に配されたついでたの「ヒンブン」が特徴(1987年)
- 2 池間島の祭祀「ユークイ」で、拝所を巡るツカサンマたち(1985年)
- 3 伊良部島佐良浜の「カーニガイ(井戸願い)」。カー(井戸)へ降りる急階段の途中で祈願するツカサンマたち(1993年)

法政大学沖縄文化研究所 創立50周年記念展示

「沖縄を知り、考え、つながる」

期間：5月13日～8月26日

● 九段北校舎1階(ミュージアム・コア)
法政大学沖縄文化研究所50年の歩み

● ポアソナード・タワー 26階
(ミュージアム・サテライト)
首里城正殿の屋根2022展

● 外濠校舎6階(ミュージアム・サテライト)
写真展

「よみがえる宮古島の祭祀―池間・佐良浜の神願い」

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、日程や内容は変更になる可能性があります。詳しくは上記QRコードをご確認ください。



HOSEI
ミュージアム
ウェブサイト



理工学研究科の学生が、各賞を受賞

大学院理工学研究科に在籍する学生に対して、国際会議で発表した論文や、学会の学生会員としての活動が認められ、賞が贈られました。各賞の内容は以下の通りです。

■電気学会主催「電気学術女性活動奨励賞」を受賞

一戸菜奈実さん

(電気電子工学専攻修士課程1年)

■電気学会主催「電気学会東京支部 電気学術奨励賞」を受賞

黒田優輝さん(電気電子工学専攻修士課程1年)



一戸菜奈実さん



アイスホッケー女子日本代表の床秦留可選手が来校

北京2022オリンピック競技大会で、アイスホッケー女子日本代表(スマイルジャパン)の一員として出場した床秦留可選手(スポーツ健康学部卒)が戦績報告のために来校しました。

史上初のベスト8という大躍進で大会を終えたスマイルジャパンですが、コロナ禍により直前まで海外遠征ができずにいた苦しい内情があったそうです。それでも躍進できた理由として、床選手は「チームとしてしっかりとかみ合ったことで、実力をうまく発揮できました」と語りました。



「第62回全日本学生グライダー競技大会」で個人優勝と団体準優勝を獲得

3月7日(月)から11日(金)にかけて、埼玉県の新沼滑空場で「第62回全日本学生グライダー競技大会」が開催されました。

2020年度(第60回)、2021年度(第61回)がコロナ禍の影響で中止されたため、3大会ぶりの開催となった本大会では、個人総合で3157点の得点を上げた本田士恩選手(理工学部4年:当時)が見事に個人優勝を果たしました。航空部全体としても好調で、団体成績で準優勝を飾りました。これからも航空部の活躍にご期待ください。



個人優勝を果たした本田士恩選手
(前列中央)



2022年度新入生に向けた「多摩キャンパスツアー」を開催

4月1日(金)、2日(土)、4日(月)、6日(水)の4日間にわたり、先輩学生が広大な多摩キャンパス内の各施設をエリア別に紹介するキャンパスツアーを開催しました。

当日は、オレンジ色のTシャツを着た「多摩オープンキャンパスリーダーズ」が新入生を案内。ツアーを楽しみながら、大学生活の不安や疑問なども受け付け、新入生のサポートに努めました。



国際文化学部島野教授が発見した新種のダニが「2021年の注目すべき海洋生物の新種トップ10」に選出

海洋生物種の世界登録簿(WoRMS)が選ぶ「2021年の注目すべき海洋生物の新種トップ10」に、国際文化学部の島野智之教授らが発表した「チョウシハマバダニ」が選ばれました。学名である「Ameronothrus twitter」は、ソーシャルメディアのTwitterに由来したものです。

島野教授は、アマチュアカメラマンの根本崇正氏がTwitterに投稿した写真に写るダニに着目。現地で標本を採集し、トビアス＝プフィングスティル博士(グラーツ大学・オーストリア)らと共同で研究を行い、新種であることを確認しました。



リカレント教育オフィス公開講座の収録動画を公開しました

法政大学リカレント教育オフィスは、本学の社会人の学びの場としての機能をより一層高めていくことを目指す生涯教育の拠点です。3月26日(土)には、リカレント教育オフィス公開講座「混沌の時代の社会人学び直し—自分を守る武器を身につける—」を開催。この講座を収録した動画を公開する運びとなりました。

公開された動画は、小秋元段副学長による開会あいさつ、講演「ビジネスパーソンの学び直し—自分を守る、扉を開く」、働きながらの学び直しを経験された方々のトークセッションという三部で構成されています。

リカレント教育オフィス公開講座



人間環境学部長谷川ゼミが「第22回日経STOCKリーグ」にて「アイデア賞」受賞

人間環境学部の長谷川直哉教授ゼミの学生が、中学生から大学生までを対象とした金融・経済学習コンテストである「第22回日経STOCKリーグ」に参加。日本の医療現場の脆弱性に焦点を当て、医療ICT(情報通信技術)を活用した「スマートメディカル」の重要性を説いたレポートが、大学部門ベスト3に選ばれて「アイデア賞」を受賞しました。

長谷川ゼミでは、このコンテストに継続して挑戦。ゼミ創設以来12年連続で入選・入賞を果たしています。



文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」に採択

本学は、DX(デジタルトランスフォーメーション)教育設備を活用した教育カリキュラム開発や実験・実習の高度化など、「デジタル×専門分野」の教育を進め、我が国の産業界などのデジタル化・高付加価値化をけん引する高度専門人材育成事業に採択されました。

今後、デザイン工学部の今井龍一教授を事業計画責任者として、他大学や産業界と連携しながら「デジタルツイン[※]を用いた都市調査・解析に係わるデータサイエンティスト育成事業」を推進していきます。

※デジタルツイン:IoT(モノのインターネット)などで取得した情報をもとに、シミュレーションした現実世界の環境を仮想空間上に再現する技術のこと。



北京2022オリンピック競技大会に出場した岩淵麗楽選手に、法政大学学生特別表彰奨励賞を授与

3月15日(火)、北京2022オリンピック競技大会のスノーボードに出場した岩淵麗楽選手(スポーツ健康学部3年)に「法政大学学生特別表彰奨励賞」が贈られました。

この賞は学術、スポーツなどで顕著な成績を上げたことで国際的な評価などを受け、本学の名を高めることに著しく寄与した学生に贈られる賞です。

岩淵選手の表敬訪問を受けた廣瀬克哉総長は「競技後に各国の選手が駆け付けるシーンが印象的でした。本学の学生が世界で活躍していることをうれしく思います」と岩淵選手の活躍をたたえました。



陸前高田市×法政大学 SDGs ワークショップ最終報告会を開催

法政大学と岩手県陸前高田市は、協力してSDGs(持続可能な開発目標)の課題解決に取り組む「陸前高田市SDGsワークショップ」を実施しています。2021年度は、9学部・1研究科から応募した19人の学生が4チームに分かれ、社会福祉法人燦燦会・村上製材所・橋勝商店・山十(伊東文具店)という4事業所と連携しながらアクションプランを考えました。3月14日(月)には最終報告会がオンラインで実施され、学生の視点で考えたプランについてのプレゼンテーションが発表されました。

報告 お知らせ 募集



「ダイバーシティ・男女共同参画」サイトを公開



ダイバーシティ・男女共同参画サイト

本学ダイバーシティ推進委員会とHOSEI2030特設部会男女共同参画推進チームが共同で、ダイバーシティ推進や男女共同参画推進への取り組みを学内外に発信していくために「ダイバーシティ・男女共同参画」サイトを制作し、公開しました。

今後、本学でのダイバーシティ推進や男女共同参画に関する情報に関しては、このサイトにて発信していく予定です。



通学定期券の購入について

「通学定期乗車券」は、通学を目的として、自宅最寄り駅から所属キャンパスの最寄り駅までの区間に限り購入できます。大学に届け出ている区間に基づいて正確な情報を記入し、不正をすることなく正しい購入手続き、使用をお願いします。

<鉄道利用時>

学生証が通学証明書を兼ねていますので、学生証裏面シールに現住所と通学区間を記入の上、各鉄道会社窓口などで購入してください(裏面シールは、毎年4月初旬に保証人様宛てに郵送していますので、各自で必ず貼り替えてください)。

<バス利用時>

鉄道同様、学生証を提示し、利用するバス会社の営業所などで購入してください。

多摩キャンパスでは、生活協同組合店舗(生協タマエもん店)で、本学学生専用定期券や回数券の取り扱いも行っています。



学習ステーションが2022年度の「新入生サポート」を実施

4月1日(金)、および4日(月)～8日(金)にかけて、学習ステーションが「新入生サポート」を実施しました。このサポートは、新入生が充実したキャンパスライフをスタートできるように、所属学部学科に限らず、大学生活に関して気になることを自由に先輩に相談できる取り組みです。

今年度は、市ヶ谷キャンパスの学生には対面で、多摩キャンパス、小金井キャンパスの学生向けにはオンラインで実施し、延べ600人を超える新入生が参加しました。



本学専任教職員の最近の著書、編纂書、訳書をご紹介します。

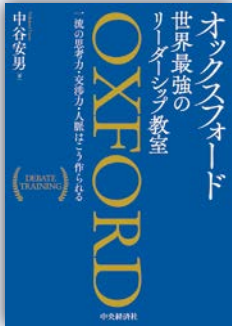
BOOKS



メディアリテラシー 吟味思考(クリティカルシンキング) を育む

「1億総メディア社会」を生き抜くために、今、求められているスキルとして、メディアリテラシーとその根幹にあるクリティカルシンキング(吟味して物事を考えるスキル)を育む一冊。理論と実践をカバーした、アカデミアとジャーナリズムの専門家によるメディアリテラシーの入門書。

坂本 旬 他1名 編著
キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科 教授
出版社：時事通信出版局
発 行：2021年12月



オックスフォード 世界最強のリーダーシップ教室 一流の思考力・交渉力・人脈はこう作られる

ジョンソン首相をはじめとした政治家やCEO(企業の最高経営責任者)など、世界的なリーダーを輩出している英国のディベート組織「オックスフォード・ユニオン」。その学びを題材に、リーダーシップの育み方を集約。ディベートトレーニング、ビジネスケース、交渉戦略のポイントなど実践的なコンテンツも豊富に収録。

中谷 安男 著
経済学部経済学科 教授
出版社：中央経済社
発 行：2022年1月



「させていただく」の使い方 日本語と敬語のゆくえ

つい使ってしまう「させていただく」、はたして適切な敬語表現なのか。意識調査などで違和感の正体を明らかにすると、現代人は相手を敬うためでなく、自分を丁寧に見せるために敬語を使っていた――。明治期や戦後など、社会構造が変わる時には新しい敬語が生まれることを、言語学者が身近な例で分かりやすく解説。

椎名 美智 著
文学部英文学科 教授
出版社：KADOKAWA
発 行：2022年1月



住民力 超高齢社会を生き抜く地域のチカラ

日本社会は、超高齢化や頻発する自然災害、コロナ禍など、暮らしや生命を脅かすリスクに直面している。これらの危機に立ち向かう「住民力」をいかにつくるのか。20年近くわたるフィールドワークの経験をもとに、先進的な地域の取り組みに共通する「住民力」を高めるための七つのポイントを提起する。

宮城 孝 著
現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授
出版社：明石書店
発 行：2022年1月

※日外アソシエーツ 図書内容情報BookPlusを参照

HOSEI 5月号

令和4年5月20日発行
第49巻第4号(通巻731号)

発行 法政大学 総長室 広報課
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
TEL.03-3264-9240

協力 法政大学後援会

企画・制作協力 (株)日経BPコンサルティング

印刷所 図書印刷(株)



法政大学生協同組合書籍部より

＜多摩キャンパス＞

年間を通して組合員の興味を引く書籍を提供

多摩購買書籍部(通称:タマえもん店)は法政大学生協の購買店舗の中で売り場の面積が一番広いため、語学書や就職活動向けの実用書だけでなく、多分野の文庫本など多様な書籍を取り扱っています。さらに、タマえもん店では、組合員の「このような本が欲しい」という声に合わせて、書籍を提供しています。組合員の皆さまの声が、棚を彩り豊かにします。積極的に「このような本があったらいいのに」という声を、ぜひタマえもん店までお届けください。

皆さまの勉学や研究活動をサポートするため、大学生協は幅広いジャンルの書籍を取り揃え、販売しています。皆さまの生協タマえもん店の利用と、声での運営参加をお待ちしています。

(多摩購買書籍部)



■ Award

2021年度

自由	を	生	き	抜	く	実	践	知	大	賞	2
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2021年度「自由を生き抜く実践知大賞」には大学憲章を体现するような実践の取り組みとして11件がノミネート。

厳正な審査にて、大賞と大学憲章に連なる本学の理念などのキーワードを冠した4賞、

オンライン投票による「よき師よき友が選ぶ実践知賞」の計6賞が選ばれました。

ここでは、それぞれの受賞の取り組みを順に紹介します。

社会の課題解決賞

若葉台住宅ワクチン代行予約プロジェクト

(実施団体：現代福祉学部 保井美樹・今井裕久ゼミ)



ノミネート理由・活動概要

神奈川県相模原市緑区に位置する「若葉台住宅」において、地元の住民組織である「若葉台住宅を考える会」と連携しながら、住民の新型コロナウイルス感染症のワクチン(新型コロナワクチン)の接種予約を学生が代行して行いました。

コロナ禍の影響により不要不急の外出が制限され、コミュニティー活動そして大学における教育・研究活動が大きく制限や自粛を余儀なくされました。そうした制約があっても「地域に寄り添ってコミュニティー活動の支援ができないか」と模索する中での取り組みです。感染拡大を考慮して、若葉台住宅現地に赴く学生は最小限として、他の学生はビデオ会議ツールのZoomを用いたオンラインで参加しました。

予約代行の手順としては、まず現地にいる学生や住民組織が窓口となって受付を担当し、代行予約を希望する方から接種券を預かります。その後、オンラインで参加している学生が自らの携帯やパソコンなどを用いて相模原市が運営する予約ページにアクセスし、必要情報や予約希望日時を入力することで、予約を行いました。

代行予約の際には、あらかじめ予約希望者と代行予約者双方から個人情報の取り扱いに関する誓約書に記入してもらい、個人情報の保護にも努めました。

こうした活動をこの地区だけで終わらせることなく、多くの地域に広げていけるように、今回の代行予約を行うまでの手順を記したマニュアルを作成し、ゼミのブログサイトにて公開しました。



オンライン参加した学生の様子



現場での学生の様子

廣瀬克哉総長からの選定理由コメント

コロナ禍で、切実な課題となっていたワクチン接種の予約確保を個人情報に配慮しつつ実現した、意義ある支援です。世界がどのような状況であっても、地域の助け合い精神に生き抜く力があることを実践的に学ぶ機会となったと評価できます。また、この取り組みを経て獲得したノウハウを「ワクチン予約代行マニュアル」として広く公開したことは、同じ課題を抱える他の地域にとっても、地域を動かす種をまく意義を持ち、持続可能な社会の未来を実現していく一助となるでしょう。

受賞者からの感想

活動を通して我々が最も伝えたかったことは、「地域の中でお互いが手を取り合い、協力して助け合えるような環境をもっと広めたい」ということでした。若葉台住宅だけではなく、同じ問題を抱えている地域は数多くあると思います。そのような地域に向けて、我々の活動が少しでも参考になるのであれば、ぜひ取り組んでほしいと思います。我々も活動を止めることなく頑張っています。

(現代福祉学部4年 山本陽太)

今後の展望

この度の活動や受賞を通して、新型コロナウイルス感染症による影響は全てが「制限」ではなく「変化」であると学ぶことができました。確かに活動が制限される中で困惑した時期もありましたが、その影響を変化として活用することで、この度のプロジェクトのような自由を生き抜くための実践を生むことができました。今後も、グループやメンバー個人としての若葉台住宅での新たな活動への挑戦を続けていきたいと考えています。我々学生と若葉台住宅の方々との挑戦を続けていくことで、現状の街が抱える問題の解決や、その先の未来における産学官が連携・協力し合える持続可能な街の実現を目指していきたいと考えています。

「自由を生き抜く実践知大賞」の各賞の詳細や表彰式の動画は、HOSEI PHRONESIS(<http://phronesis.hosei.ac.jp/>)をご覧ください。



保井美樹・今井裕久ゼミ ブログサイト
https://note.com/yasuilab_h/n/n280ddc478242





法政大学 在学生と保護者の皆さまへ

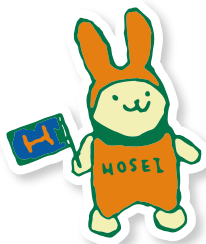
学研災付帯学総

加入していますか？

2022年度用

中途加入のご案内

団体割引
30% 適用



法政大学 学生保険

学生教育研究災害傷害保険付帯 学生生活総合保険 略称:付帯学総

法政大学がおすすめする保険制度です。是非ご加入ください。

ここが
Point

病気もケガも
通院1日目から補償

- かぜ・インフルエンザによる通院でも1日目から対象
- 調剤薬局で処方された薬代金も対象



©東京海上日動

保険金お支払い例

治療費用（病気）：発熱のため通院した。
…お支払い保険金：3,860円

治療費用（ケガ）：学校行事の準備中、
右足親指を強打し負傷した。
…お支払い保険金：12,220円

個人賠償責任示談交渉サービス付

- インターンシップやアルバイト中も補償の対象となります！
- 自転車条例に対応！！



©東京海上日動

保険金お支払い例

個人賠償責任：自転車で、停車中の車に追突した。
…お支払い保険金：100,954円

メディカルアシスト

自動セット

一人暮らしの学生も安心です！！
お電話にて各種医療に関する相談に応じます。

申込締切 2022年6月30日（木）

※締切を過ぎた場合は取扱代理店までお問い合わせください。

お手続きは、便利で簡単！

法政大学 学生保険 Web加入サイト

(<https://tokiomarine.secure.force.com/futaigakuso?id=0224900>)

- ・サイトのご利用時間は 8:00～22:00 です。
- ・保険料はコンビニでお支払！（24時間OK！）



ご加入について

在学中であればいつでもどなたでもご加入できます！

このチラシは保険の特徴を説明したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。
パンフレット等の資料請求、ご加入方法および保険料については、下記取扱代理店までお気軽にご連絡ください。

取扱代理店

●お問い合わせ・連絡先

<幹事代理店>

株式会社 法政保険プラザ
(法政大学関連会社 損害保険代理店)

(東京海上日動あんしんコンサルティング(株)内)

学生生活総合保険相談デスク

☎ 0120-811-806

受付時間 9:30-17:00（土日祝日を除く） * Web はこちら⇒



引受保険会社

<引受幹事保険会社>

東京海上日動火災保険株式会社 公務第二部文教公務室
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4 TEL: 03-3515-4133